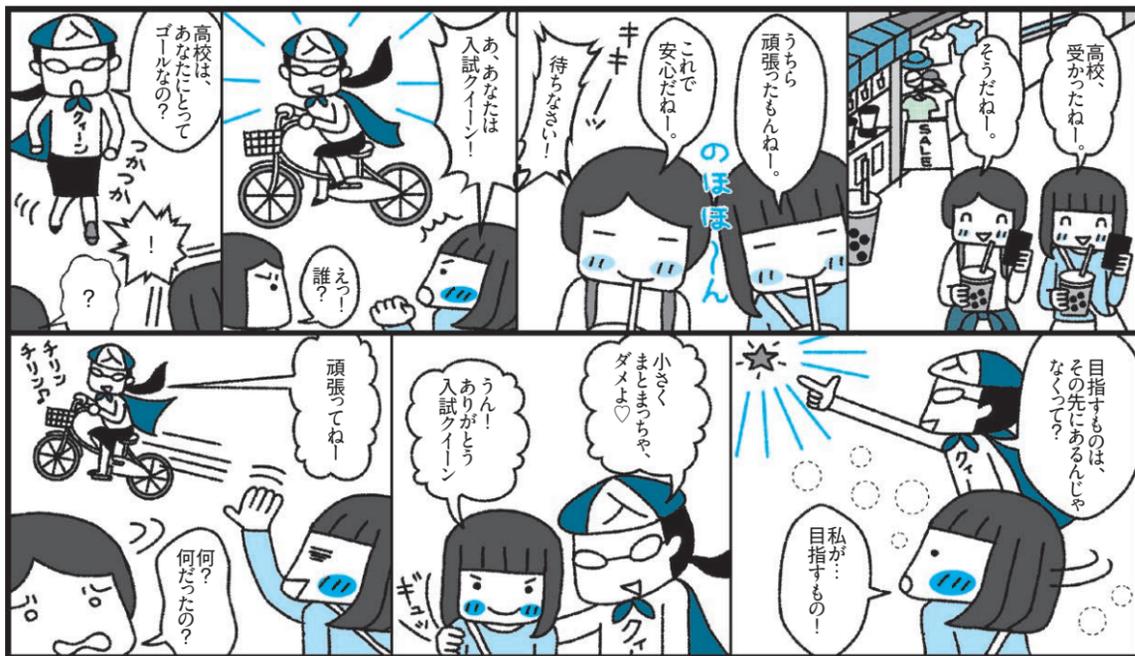
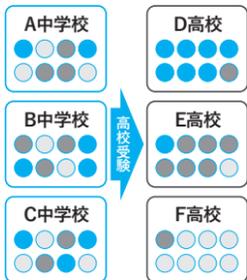


01 高校合格は通過点！



■中学校と高校の違い



しかし、高校では入試を経て入学するため、クラスメイトは入試で生徒の学力にバラつきがあります。

公立の中学校では、ほとんどの場合、学区ごとに決まった中学校に進学するため、中1の段階で生徒の学力にバラつきがあります。

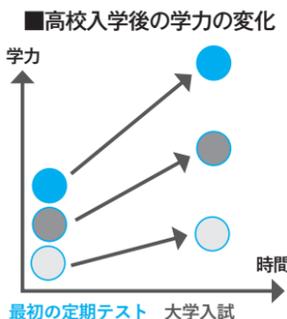
高校合格時点では学力の差がほとんどない

高校に入學すると、5・6月に最初の定期テストがあります。高校入試を終えると、羽をのばしたいという気持ちが強くなりますが、この最初の定期テストが先に待つ大学入試での大切な力となり得ます。

ほとんどの同じ学力をもっています。つまり、入学した時点では学力に大きな差はなく、横一線からのスタートになります。誰にでも校内でトップになるチャンスがあるのです。

だからこそ中3の3月から高1のスタートが大切

高校に入學すると、高校生活の楽しい面に熱中し、勉強をおろそかにしてしまうことがあります。しかし、このスタートの時期が最も大切なのです。右下の図は、高校入学後、最初の定期テストの成績から、大学入試を迎えるまでにどのよう



なせなら、最初の定期テストの結果がその後の学習に影響するからです。あまりいい結果が出ないと、高校の授業は中学校

高校入試はゴールではなく通過点。まずは最初の定期テストで上位の成績を取ることが大切。

はじめに

いま、大学入試が大きく変わっています！
2025年度入試からは、新課程に基づいた大学入試となり、共通テストで「情報」が出題されるなど大きな変化が生じています。さらに「年内入試」と言われる「学校推薦型選抜」「総合型選抜」と「一般選抜」の二極化が進み、選抜制度は多様化しています。本書では、とりわけ「学校推薦型選抜」「総合型選抜」に重点を置き、現状を踏まえながらわかりやすく解説しました。このような重要な情報を早期に押さえておくことが、進路選択の幅を広げることに繋がります。

学校推薦・総合型選抜での私立大進学者は約6割！
大学入試には多様な選抜方式があります。じつは、私立大学においては、いわゆるペーパーテストの結果を評価する「一般選抜」で進学する人は全体の約4割。残りの6割は、これからの高校生活での学習成果を重視する「学校推薦型選抜」や、大学での学びに対する意欲や適性を評価する「総合型選抜」による合格者で占められています。高校入試とはかなり異なった大学入試の実態を、まず理解しておきましょう。

国立大でも学校推薦・総合型選抜の定員を拡大中！
みなさんの中には「国立大なんて自分には難しいかも」と考えている人もいるかもしれませんが、国立大全体で、入学者の3割を学校推薦・総合型選抜による合格者とする目標が掲げられ、年々その定員は増加しています。また、一部有名私立大においても、学校推薦・総合型選抜の定員を増やす動きが見られます。これは、大学側がアドミッションポリシーという、大学で学ぶための意欲や適性を評価していく流れが強まっているからです。本書が、みなさんの進路選択、さらには夢の実現の一助になれば幸いです。

CONTENTS

第1部 大学入試の概要	第3部 大学入試を見据えた高校生活の送り方
高校合格は通過点！…………… 1	大学の学び…………… 16
中3・高1だからこそ、 大学入試を知っておかなければならない理由…………… 2	大学・学部の選び方…………… 18
大学入学への道は、一つじゃない…………… 3	入試方式の選び方…………… 20
国公立大の一般選抜は2段階…………… 4	大学入試で活用 調査書を見てみよう！…………… 22
バラエティ豊かな私立大の一般選抜…………… 5	大学入試で活用 活動報告書を見てみよう！…………… 24
学校推薦型選抜とは…………… 6	大学入試で活用 志望理由書を見てみよう！…………… 26
総合型選抜とは…………… 7	希望の進路を実現する高校生活の送り方…………… 28
まず大切なことは、大学を知ること…………… 8	
夢の実現にもっとも大切な力——それが高1…………… 9	
第2部 大学入試は今こうなっている	第4部 大学にかかるお金と奨学金
中3・高1から知っておきたい！ 大学入試は今こうなっている…………… 10	大学にかかるお金について知っておこう…………… 30
大学入試最新情報…………… 12	幅広く利用されている奨学金…………… 32